



平成 25年5月2日 (木)

住所：横浜市瀬谷区二ツ橋町470

電話：(045) 391-2131

— 第 1 号 —

春の空気に包まれて

校長 大森 富美雄



三ツ境駅から学校へ向かう通学路の道ばたをよく見ると、小さなカタバミの花がかわいらしい花を咲かせています。私にとって数年ぶりの二つ橋の春は、以前と変わらず、のどかな空気に包まれていました。

47名の新入生のみなさん、そして、新2年・新3年に進級された生徒のみなさん、おめでとうございます。入学・進級してから1ヶ月あまりが過ぎ、少しずつ新しい学校生活にもなじんできた頃かと思います。

私が言うのも変ですが、皆さんは本当によい学校で学んでいると思います。今からちょうど10年前、この地に高等養護学校二つ橋分教室が誕生しました。26人の生徒と8人の教師、小さいけれど、まさに手作りの楽しい学校でした。その後、この学校は、時代や社会、そして生徒のニーズに対応しながら成長してきました。

今年度の始業式・入学式、授業や部活動の様子を見ると、この10年間で学校が素晴らしく成長したことを実感しました。もちろん、それぞれの時代には様々な課題があり（課題のない学校なんてありえませんから）、今現在もいくつかの課題を抱えているはずですが、でも、二つ橋の生徒・保護者・教職員は、そのつど悩み、議論を重ねながら現在の姿を創り上げてきました。理想とは常に更新され続けるものなので、これから先も二つ橋が理想の姿に到達することはないと思います。今よりもっとよい姿になることを常に目指し、生徒・教職員だけでなく、保護者も一緒になって、毎年課題に取り組み続けることになるでしょう。二つ橋は、そういった学校づくりを通して成長し続けられる学校だと、私は信じています。

自己紹介が最後になってしまいました。5年ぶりに二つ橋に戻ってきた校長の大森です。一步一步理想に近づくための学校づくりに、ぜひ、一緒に取り組んでください。よろしくお願いいたします。



二つ橋スクールライフ



〇1年生

今年の新入生学年カラーは「明るく元気いっぱい!」という印象を受けています。入学式ではとても緊張していましたが、日がたつにつれて廊下や教室から元気な声が聞こえています。慣れない学校生活の不安を和らげるために、担任と生徒の面談を行いました。「この学校に入って、友達が増えて嬉しい・楽しい…」という言葉が多かったようです。仲間との関わりの中から、共に多くの事を学んで行く一年になると期待しています。

〇2年生

2年生49名、2年目の高校生活がスタートしました。4月11日の学年集会では、クラスの個性を生かしたパワフル且つ素晴らしいクラス紹介を披露してくれました。また、学校行事・生徒会活動や部活動等、先輩として自分の課題を意識した前向きな行動も多く見られるようになりました。自分の夢を叶えるためにこの一年間特に意識してほしいことは、「人の話を素直に聞くこと」「誰とも仲良くできること」「時間を守る(休まない)こと」です。

〇3年生

いよいよ最終学年になりました。始業式からの3年生の様子を見ておきますと、「3年生」という言葉にふさわしい立派な態度で諸行事、クラスの話し合い等に臨んでいます。10日の学年集会では、各クラスのパフォーマンスと自分たちで決めたクラス目標の発表がありました。ダンス、寸劇、コントなど、どのクラスも達者な演技ぶりに、生徒も職員も大いに盛り上がりました。各担任からはクラスでの話し合いが上手で、少しの支援で意見交換から相談、決定をしていく力が育っていると嬉しい報告がありました。今年度もご支援ご協力を、引き続きよろしくお願いいたします。

〇保健室から

4月は健康診断が目白押しにあり、保健室はバタバタした日を過ごしていました。生徒たちもクラス替えがあり新しい仲間と過ごし始め戸惑うこともあった4月だったと思います。学校生活にも慣れてきたこの5月疲れが出やすくなります。体やこころの疲れは体調に大きく関係します。休日は体と心を休めてリフレッシュし、学校で元気に過ごせるようにしましょう。

〇「横浜市立二つ橋高等特別支援学校 Web サイト」

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/ss/futatsubashikoto/>



今年度の「セクハラ相談窓口」は次の2名が担当いたします。
何かありましたら、ご相談ください。

・副校長 長岡 利保 ・養護教諭 瓜生 由美